

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和6年11月6日（水）午前9時30分から11時30分
- 2 場 所 静岡県立静岡視覚特別支援学校  
（静岡県立静岡南部特別支援学校 会議室、家庭科室）
- 3 参加者 計13人  
学校運営協議会委員 5人  
静岡県立大学短期大学部 特任教授  
地区町内会 民生委員  
交流校 PTA 会長  
地区自治会 会長  
本校 PTA 会長  
本校職員 8人  
校長、副校長、事務長、幼小・中・高等部主事、  
教務主任、  
地域支援コーディネーター
- 4 内 容  
（1）校長挨拶  
（2）自己紹介  
（3）校内参観 \* 静岡南部特別支援学校と合同で実施
- 5 協議1「地域との関わりについて」 \* 静岡南部特別支援学校と合同で実施  
（1）地域との関わりについて（各校部主事が説明）
  - ・地域の施設利用や施設利用者との交流、お知らせの配布など
  - ・近隣のこども園や小学校との交流
  - ・学校の取組への協力依頼
  - ・校内、校外での施術体験や実習  
（2）学校運営協議会委員より
  - ・実体験や本物に触れる経験が大切。経験不足から社会に出ても苦労する人もいる。ぜひ継続してほしい。
  - ・次のステップとして、地域のイベント等への参加も視野に入れるとよい。人が多く集まる場所で何かをする経験も大切。

## 6 協議2「新校に向けて～どうしたら地域とつながる学校になるか～」

### (1) 新校の概要について（副校長が説明）

#### (2) ①活用できそうな地域資源

##### ②学校について知ってもらうためのアイデア

##### ③理想の学校の姿について

\* 運：学校運営協議会委員からの質問、意見、感想等

学：本校職員の回答

#### ①地域資源について

学：作業学習で農園芸を考えているが、校内に場所を確保することが難しい。

運：畑なら地域の方から借りられるのでは。高齢等の理由で管理が難しくなってきた方もいるので、声を掛けることは可能。

運：地元企業の活用はできないか。タミヤやバンダイなど、大きな企業が近くにあるので、声を掛けてみるとよいかもしれない。

運：小学校では静岡ガスのビオトープを利用しているので、声を掛けてみるとよいかもしれない。

#### ②学校について知ってもらうためのアイデアについて

運：地域の方が校内に入ることのできるスペースがあるとよい。例えば、カフェを作るなど。

運：外から見て、白い壁だけだと、どんな学校なのか分かりにくく、入りにくい。近隣のこども園や小学校と連携して壁画を作成すると、より分かりやすく入りやすくなるのでは。

運：校名に愛称があるとよい。短くて言いやすいものだと、親しみも湧くと思う。

運：散歩などで気軽に校内に入れるとよい。実のなる木を植えるとよいのでは。

#### ③理想の学校の姿について

運：日常的に身近に触れ合える学校になってほしい。

運：学校から地域に出向くことはできているので、地域の方が学校に来られるようになるとよい。

運：地域に人が来やすい学校になってほしい。コミュニティの拠点の一つとして、高齢者がかかわりを持てる場になるとよい。

運：行事などを活用して、地域の人と触れ合える場になってほしい。

運：シニア世代を活用しながら、地域の方の居場所になってほしい。